

下関短期大学保育学科「創作発表会」 全記録に見る実践報告

堀 尾 昇 平

Socially beneficial public presentations from the Department of
Early Education and Care at Shimonoseki Junior College

by
Shyohei HORIO

要旨

保育学科創作発表会は、日頃の授業「保育実践演習」「児童文化」での各学生が希望コース等での教育実践の発表の場として、また地域社会の幼児育成の一助として行っているものである。

昭和63年度に下関市民会館中ホールで第1回を開催して下関市立文化会館、シーモールホールと発表会場を変えながら令和2年度に第33回目を迎える。

本稿では、創作発表会開始までの状況と授業との兼ね合い、当時ボランティア活動としてのチャリティーショーからの発展、発表会場の選定、会場の大きさによる発表形態の改変。授業展開のための他大学幼児教育系の発表会見学からの発想。中・四国保育学生研究大会での運営方法及び発表形態研究や、実施するための教員間の共通理解。これからの創作発表会のあり方についての学生アンケート結果からみる内容検討等、成り立ちから現在の状況を含め報告する。

キーワード：チャリティーショー、授業科目名、児童研究部、
中・四国保育学生研究大会

1 はじめに——創作発表会の成り立ち

本学科の創作発表会は、演習授業科目の教育実践を発表する場という目的を持っており、第1回目の発表から30年間授業科目名称を変えながら、他学のない独自の演習科目として発展してきた。筆者が本学に就職した昭和61年（1986）の演習科目は、2年次対象の選択科目「特殊研究」として開設された。筆者の講座には5名が受講し、その全員が筆者が顧問であるチャ

リティーショーや付属幼稚園での誕生日会で活動する児童研究部の部員で、共に発表内容とその技術を研究し個人個人で自分なりに発表を行った程度で制作や舞台を使うものではなかった。授業を開始し発表形態を考えていた時、第一育短期大学（現、福岡こども短期大学）の学園祭でのミュージカル演技発表や宇部短期大学（現、宇部フロンティア大学短期大学部）の卒業発表会の竹編み制作による着ぐるみの演技発表などをビデオに収録し本学での発表形態について考えた。他学の発表は授業の一環ではあったと思うが多数の観客にアピールができ演技者も生き生きと発表に臨んでいた。同年、本学学友会主催による第5回「チャリティーショー」（中央公民館（現市生涯学習プラザ）で開催された舞台を見学した。日頃の学内活動（音楽科、保育科、社会福祉部、児童研究部、学友会）を生かしたこのショーは地域社会貢献活動の一つであった。歳末助け合い募金活動の一環として行われており参加学生はボランティアとして出演しブラックシアターや劇や歌唱など練習を重ねた見応えあるもので、その技術力や発表能力がありながら、観客動員は少なかった。これらのことから、他大学の発表広報活動に対し下関女子短期大学保育科は、発表技術能力を持ちながら、地域への発表体制及び広報活動が整わないことに他学との差を感じた。そのためにはまず保育科会議で、授業内容が総合的に、よりよい保育者を目指すものとして保育・教育に関する専門知識を深められ、子どもや保護者の援助技術・方法について実践的に学ぶとともに主体性を持ち能動性、積極性を養い、専門職にふさわしい技術を身に付けコミュニケーション力や協調を養うことのできる授業として、「特殊研究」を選び、感性豊かな表現力を身に付け、保育者として授業を通して教育実践を具現化する方法として実技研究発表を行う。また地域社会の幼児育成の一助として実施することを目的とすること決め、教員全員が内容を理解し各指導に携わり授業の発表に向け学生たちと練習を重ねた。発表会場には音楽科が定期演奏会を毎年行っていた市民会館中ホール借りることにして広報について否定的な意見もあったが、地域社会への貢献を考えパンフレットを作り身近な所だけに広報活動をした。昭和63年（1988）2月4日2年生のみによる特殊研究授業発表名を「保育科卒業発表会」とし幼児向けに副題「—みんなあつまれ—」を付け開催するに至った。

2 創作発表会

2-1 卒業生アンケートに見る創作発表会

昭和63年度の第1回は「卒業発表会」の名で発表したのが、第2回以降から「特殊研究」授業が1・2年合同になったため現名称になった。初期のグループ分けは学生1人につき第3希望まで取り各グループの人数が均等になるように分けたため不満の学生もいた。なお各ゼミナールによる発表、現在は各コースによる発表の本格的導入は平成20年度（2008）から開始しコース分けも第1希望を主体にしている。

参加者のアンケートから初期の活動が窺うことができる。平成4年（1992）3月卒業の江頭由美子（私立幼稚園勤務）は児童研究部員で中・四国保育学生研究大会やチャリティーショーも参加した経験者である。

児童研究部にはなんかおもしろそうだなあ、色んな所に行けるみたい！といった感じで入りました。中・四国保育学生研究大会、シーモールでのチャリティーショー、文化会館での創作発表会、先生や仲間達との楽しく過ごした時間と色々なことが思い出されます。

出し物をどんなものにするか話し合ったり練習したりワイワイ・ガヤガヤと日々過ごして、自分たちで創り上げ取り組んできたと思っていたことも幼稚園教諭という仕事に就き振り返ってみると「先生！お願い」と何でもお任せだったと思います。下準備あってのものであり、大変だったろうなと今ではあんなわがまま学生でごめんなさいと思います。コツコツと発泡スチロールを削り作ってくれた縫いぐるみ。今も教室に置いてあるのにはビックリしました。

1年の中・四国保育学生研究大会は鳥取、2年では愛媛でありました。でも私は1年の時は参加できませんでした。

私達の学年は元気いっぱい！ 明るいキャラの集まりでした。おかげで真っ赤な「たこ」の着ぐるみを作って、足8本をブラブラさせながらダンスなどを「チャリティーショー」をシーモール泉の広場ですることになりました。私は恥ずかしいので音楽担当をしましたが、見に来て下さった方たちが笑っていたり、演じている仲間が楽しそうにしているのを見ていて、自然に笑顔になっていました。卒業アルバムにもその写真が使われており、懐かしく見返しました。児童研究部に入っていなければできなかった思い出ばかりです。それぞれの得意分野を生かしダンス・音楽・絵画・裁縫・料理と様々な視点から一緒にみんなで協力して過ごした2年間で大切な時間となりました。

平成初期の学生達は、アルバイトなどで残れない者や個人の時間を大切にしている今の学生と違い夜遅くまで友人たちと諸活動をやるのが楽しくできる環境であったため練習に没頭できたと思われる。発想が豊かな友人たちとの行動により新しい発表形態で新しい子どもたちが喜び、楽しい舞台を作り上げてきた。

2-2 創作発表会記録

保育学科創作発表会の発表記録を表にまとめた。

表1 保育学科創作発表会発表記録第1回～32回（1988～2019）

回	年度	開催場所・ 期日	発表内容
1	1988 昭和63年	下関市民 会館中ホ ール 1989年 2月4日	1 器楽合奏「おもちゃのシンフォニー他」 2 ぬいぐるみショー「ビックバードとゆかいな仲間たち」 3 音楽劇「マッチ売りの少女」スライド絵本ミュージカル 4 影絵「みにくいあひるの子」 5 ブラックシアター「飛んでったバナナ」 6 創作ダンス「四季（春が来た、村祭り他）」
2	1989 平成元年	下関市 文化会館 1990年 2月4日	1 ぬいぐるみショー（ガチャピン・ムック） 2 創作ダンス 3 劇「オズの魔法使い」 4 ブラックシアター「不思議の国のアリス」 5 器楽合奏（舞台上に子どもたちと一緒に）
3	2年	1990年 11月23日 参加196 （1・2年総 数）	1 器楽合奏（エレクトーン・ドラム・ピアノ・マリンバ） 2 ブラックシアター「3匹のコブタ」 3 創作ダンス 4 劇「白雪姫」 5 ぬいぐるみショー（じゃじゃ丸・ピッコロ・ポロリ） 会場の子ども達と玉入れ
4	3年	1991年 12月14日 参加216	1 器楽合奏「クリスマスメロディー」 2 ブラックシアター「うらしま太郎」 3 創作ダンス「雨」 4 劇「森は生きている」 5 ぬいぐるみショー「みんなでサンタクロースをさがそう」 （ドラえもん・ドラミちゃん・のび太・しずかちゃん・ジャイアン・スネ夫）
5	4年	1992年 12月13日 参加248	1 器楽合奏「夢をのせて」 2 ブラックシアター「白雪姫」 3 創作ダンス「小さいのち」 4 劇「眠れる森の姫」 5 ぬいぐるみショー「クリスマスがくるまえに」 アンパンマン・バイキンマン
6	5年	1993年 12月12日 参加286	1 器楽合奏「アニメソング」 2 ブラックシアター「ピーターパン」 3 創作ダンス「風」 4 劇「少年・洞窟」（題名不明） 5 縫いぐるみショー「ドラえもんアメリカに行く」 ミッキー・ミニー・ドナルド・デイジー・ビックバード

7	6年	1994年 12月11日 参加 298	1 器楽合奏 (ET ビデオ) 2 ブラックシアター 「かぐや姫」 3 創作ダンス 「夢」 4 劇 「しらゆきひめ」 5 縫いぐるみショー 「クリスマスのおくりもの」 会場の子ども達とじゃんけん大会 グーフィー・くまのプーさん・ミッキー・ドナルド
8	7年	1995年 12月10日 参加 265	1 器楽合奏 「となりのトトロ他」 2 ブラックシアター 「人魚姫」 3 創作ダンス 「レゴゴダンス」 4 劇 「小さなもみの木」 5 縫いぐるみショー 「アンパンマンとミッキーのマジックショー」 食パンマン・カレーパンマン
9	8年	1996年 12月22日 参加 201	1 器楽合奏 「おもちゃの国の発表会」 2 ブラックシアター 「赤ずきんちゃん」 3 創作ダンス 「勇気 100%」 4 劇 「大きなかぶ？」 5 縫いぐるみショー 猫「プッチ」犬「プリン」のクリスマス
10	9年	1998年 1月18日 参加 173	1 器楽合奏 「ふしぎなお花」(子ども達と合奏) 2 ブラックシアター 「三匹のこぶた」(お花のダンス) 3 創作ダンス 「ブラックキャッツ 他」 4 劇 「しらゆきひめ」 5 縫いぐるみショー 「しまじろうとディズニワールドへいこう」
11	10年	1998年 12月13日 参加 170	1 器楽合奏 「おもちゃの国からのおくりもの」 2 ブラックシアター 「ピーターパン」 3 創作ダンス 「レッツ ダンシング」 4 劇 「アイウエオリババ」 5 縫いぐるみショー 「ドリームワンダーランド」うさぎ2体
12	11年	1999年 12月19日 参加 153	1 器楽合奏 「サンタさんのわすれもの」 2 ブラックシアター 「みにくいアヒルの子」 3 創作ダンス 「てんとうむしのサンバ 他」 4 劇 「あかずきん」(児童劇的各役複数) 5 縫いぐるみショー 「ハッピークリスマス」(キティ・バツ丸)
13	12年	2000年 12月17日 参加 117	学生全員合唱 「勇気 100%」 1 器楽合奏 「クリスマスベル」 2 ブラックシアター 「おじゃる丸とエルモのクリスマス☆」 3 創作ダンス 「しんごママのおはロック 他」 4 縫いぐるみショー 「Do っち!？」(パンダ)

14	2001 13年	2001年 12月16日 参加 110	1 器楽合奏「いそげサンタ☆ゴーゴー」 2 ブラックシアター 「ハッピーメリー・クリスマス踊ろう楽しいクリスマス」 3 創作ダンス「レッツダンス」 4 縫いぐるみ劇「大事件だよ！クリスマス」(ウルトラマン足)
15	14年	2002年 12月15日 参加 153	1 器楽合奏「夢のおくりもの」 2 ブラックシアター「スイミー」 3 創作ダンス「ダンスダンスレポリューション」 ・みんなであたおう(童謡 他) 4 縫いぐるみ劇「トトロからのメッセージ、もりはたからもの」
16	15年	2003年 12月14日 参加 177	1 器楽合奏「あわてんぼうのサンタさん」 2 ブラックシアター「てぶくろ」(ロシア民話) 3 創作ダンス「レッツダンス ブレイクダンス 懐かしの童謡より」 ・みんなであたおう！「童謡」 4 縫いぐるみ劇「アンパンマンと3びきのこぶた」
17	16年	2004年 12月19日 参加 183	1 器楽合奏「合唱、ブラス古時計 他」 2 ブラックシアター「ゆうびんウサギ」 3 創作ダンス「ポケモン(ピカチュウ) ラインダンス」 みんなであたおう！「だれか故郷を思わざる・童謡」 4 縫いぐるみ劇「金太郎」 ダンス「勇気100%」
18	17年	文化会館 最終公演 2005年 12月18日 参加 160	1 器楽合奏 「みんな友達～リズムによって友達を輪を広げよう～」 2 ブラックシアター「くれよんのくろくん」 3 創作ダンス「レッツダンス」 ・みんなであたおう！「東京カンカン娘・東京音頭 童謡」 4 縫いぐるみ劇「主役はバイキンマン」(白ネコ) (幕間は全て同じグループ)
19	平成18年	シーモール ホール 2006年 12月17日 参加 135	1 器楽合奏 「TV 主題歌(タラコ、ドラえもん・ピタゴラスイッチ) 他」 2 ブラックシアター「どうぞのいす」 3 創作ダンス「あわてんぼうのサンタクロス・五匹のこぶた のチャールストン他」(発表終了) 4 縫いぐるみ劇「クリスマスパーティー」 Pちゃん「ひらけポンキッキ」
20	19年	2007年 12月16日 参加 104	オープンニングブラスバンド「ルパン三世」 付属第二幼稚園発表「げんきいっぱいいたいそうきょうしつ」 1 音楽ダンス「ようこそサンタのくにへ」 エビカニクス 2 ブラックシアター「バルボンさんのおうち」

			3 縫いぐるみ劇「3びきのこぶたっ」 (司会進行・幕間 サンタ1人)
21	20年	2008年 12月14日 参加 83	[午前の部 (口頭発表)] 〈心理ゼミナール〉 1 あなたの夢— 2 性格はどのように変わっていくのか? 3 子どもの遊びの特徴と保育者の関わり 4 男女で友達との付き合い方は違うのか 〈障害児支援ゼミナール〉 特別な教育的ニーズを持つ子供への支援 [午後の部 (実技発表)] 付属幼稚園発表 付一幼「炎神戦隊ゴーオンジャー」 付二幼「元気いっぱいレッツゴー!!」 1 ゴスペル劇「サンタが街にやって来た」 手話歌「まんが日本昔話」 2 大型紙芝居「ぐりとぐらのおきゃくさま♡」 3 ブラックシアター「えいごであそぼう」 4 縫いぐるみ劇「アンパンマンと大きなかぶ」
22	21年	2009年 12月19日 参加 81 50回中・ 四大会 当番校	[午後の部 (実技発表)] 1 器楽合奏「クリスマスソング」 2 ブラックシアター「おやさいせんそう」 3 大型紙芝居「お・て・が・み」 4 保育内容「パネル1分間の昔イイ話」 5 縫いぐるみ・影絵劇「ふしぎの国のアリス」チシャネコ 〈ロビー展示 (ポスター展示)〉 ・一楽しく美味しく—山県食育かるた ・指導者とは ・こんなときどうする? ~実習や学校で学んだことから~ ・昔遊びの部屋へようこそ (遊びのコーナー)
23	22	2010年 12月11日 参加 73	[午後の部 (実技発表)] 付属幼稚園発表 付二幼「元気いっぱいレッツゴー」(年長) 1 オベレッタ「南の島のゆかいなこどもたち」(カメハメハ大王) 付一幼稚園児参加 2 大型紙芝居劇「もうすぐクリスマス」 3 ブラックシアター 「アンパンマン・バイキンマンてをあらおう」 4 食育大型紙芝居劇「あすかちゃんとトマト」 ・縫いぐるみ・影絵劇「あつまれトトロ」

24	23 2011年 12月17日 参加 79	<p>[午前の部 (口頭発表)] <障害児支援ゼミナール> 「子どもの主体的な行動をのばす支援の考察」 ー保育学生自身による活動の展開を通してー</p> <p>[午後の部 (実技発表)] ・よさこい踊り (1年有志)</p> <p>1 昔話大型紙芝居劇「いたずらぎつね」 2 影絵「おおかみなんか こわくない」 3 オペレッタ「ドコノキノきのこ～おねえさんといっしょ～」 (中・四保育学生研究大会参加作品) 4 食育大型紙芝居「山口さんちのある1日」 5 ブラックライトシアター「藤原さんちのクリスマス」 6 2年全員によるダンス (集団リズム体操) 「スイート プリキュア」「海賊戦隊ゴーカイジャー」 幕間 着ぐるみゼミナール</p> <p>[ロビー展示 (ポスター展示)] 障害児支援ゼミナール</p>
25	24 2012年 12月15日 参加 85	<p>[午後の部 (実技発表)]</p> <p>1 オペレッタ「ピクニック」 2 影絵「どうぞのいす」 3 大型紙芝居「きらきら・マイ・ドリーム」 ーお米ができるまでー (食育表現ゼミ) 4 ブラックライトシアター「山くんさくらちゃんの冬休み」 5 着ぐるみショー「ムテ吉くんのたんじょうび会」 6 子どもの大好きな (2年全員ダンス?)</p> <p>[ロビー展示 (ポスター展示・作品展示)]</p> <p>a 山口の郷土料理について (食育表現ゼミ) b 昔話で遊ぼうコーナー (伝承遊びゼミ) c 伝承おもちゃ展示 (伝承遊びゼミ)</p> <p>[要旨集発表 (障害児支援ゼミナール)]</p> <p>a 子どもの主体的参加を促すツールの活用とその効果 b 子どもの興味関心に合わせた教材の提案と実践</p>
26	25 2013年 12月14日 参加 83	<p>[午前の部 (口頭発表)] <障害児支援ゼミナール> 「メリットの法則」について</p> <p>[午後の部 (実技発表)]</p> <p>1 オペレッタ「クリスマスファンタジー」(中・四大会参加作品) 2 影絵「ブレーメンの音楽隊」 3 大型紙芝居「リンゴの国のおひめさま」</p>

			<p>4 ブラックシアター「泣いた赤鬼」 5 着ぐるみショー「なかよしの花」 幕間 パネルシアター「桃太郎」・手遊び（伝承遊びゼミ）</p> <p>[ロビー展示（ポスター展示）] 食育双六（食育表現ゼミ）</p>
27	26 2014年 12月13日 参加 83		<p>[午前の部（口頭発表）] 〈心理ゼミナール〉 感情のコントロールについて ～アンガーマネージメント～ 〈子育て支援研究ゼミナール〉 保育学生と子育て支援</p> <p>[午後の部（実技発表）] 1 オバレッタ 「あわてんぼうの贈り物」 2 影絵 「ねずみの嫁入り」 3 縫いぐるみ 「クリスマスケーキを作ろう」 4 ブラックシアター「春・夏・秋・冬」 5 縫いぐるみ劇（2年有志） 「しあわせのうたを探しに行こうよ」（中・四国大会参加作品）</p> <p>[ロビー展示・遊びコーナー] a 手作り絵双六「きすきお野菜」（食育表現ゼミ） b 実習に関する不安について（心理ゼミ） c いないいないバアの秘密（心理ゼミ） d 紙トンボとぶんぶんごまで遊ぼう（伝承遊びゼミ）</p>
28	27 2015年 12月12日 参加 86		<p>[午前の部（口頭発表）] 〈心理ゼミナール〉 「子どもたちの行動と心」</p> <p>[午後の部（実技発表）] 1 音楽劇「クリスマスパーティー」 2 英語紙芝居「ぐりとぐらのおきゃくさま」 3 影絵「オオカミと7ひきの子ヤギ」 4 食育大型紙芝居「はなっこりーのぼうけん」（食育表現） 5 縫いぐるみ・ブラックシアター 「ドラえもんたちとクリスマスパーティーをしよう」 6 縫いぐるみ劇（2年有志） 「しあわせのうたでなかよしになろう」（中・四大会参加作品）</p> <p>[ロービー展示（ポスター展示）] 〈心理ゼミナール〉 「モヤモヤって知ってる？」 〈伝承遊びゼミナール〉 a 「私の手作り絵本」 b 「絵かき歌 — 絵かき歌の楽しさを伝えよう —」</p>

29	28 2016年 12月10日 参加 77	<p>[午前の部 (口頭発表)] <心理ゼミナール> 「災害が起きて私たちが出来る行動とは —熊本地震を経験して—」</p> <p>[午後の部 (実技発表)] オープニングアクト 保育環境 ダンス「エビカニクス」 1 影絵「桃太郎」 2 英語 歌とおどり 「Let's shing!—Bingo、あたま・かた・ひざポン—」 3 オペレッタ「サウンド・オブ・ミュージック」 4 縫いぐるみ・ブラックシアター 「しんちゃんの誕生日会だぞー」</p> <p>[ロビー展示] 保育環境 展示発表 「手作り写真館 —わくわく写真館へようこそ—」</p>
30	29 2017年 12月9日 参加 65	<p>[午前の部 (口頭発表)] <心理ゼミナール> 「母親と父親の育児の現状と想いについて」</p> <p>[午後の部 (実技発表)] 付高保育コース「オープニングアクト」 1 影絵「ヘンゼルとグレーテル」 2 保育表現 寸劇「四季の壁面を作ろう」 3 縫いぐるみ「アンパンマンの誕生日」 4 音楽 (ほんの倶楽部有志) 合奏・大型絵本 表現「はらべこあおむし—下関バージョン—」 (中・四国保育学生大会参加) 絵本「はらべこあおむし」より 5 30周年記念卒業生公演 (卒業生有志) 「しあわせの歌を探しに行こう～望郷編」</p> <p>[ロビー展示 (ポスター展示)] <乳幼児支援研究ゼミナール> 「地域における子育て支援の実際から学ぶこと」 卒業生参加コーナー 「みんなで遊ぼう」</p>
31	30 2018年 12月8日 参加 69	<p>[午後の部 (実技発表)] 付高保育コース「オープニングアクト」 1 身体表現ダンス&影絵「おむすびころりん」 2 保育内容研究「寸劇—大きなかぶをぬこう—」 3 劇表現 縫いぐるみ劇「アンパンマンとゆかいな仲間たち」</p>

			4 音楽表現「クリスマス・メドレー」 5 劇（2年有志）（中・四国大会参加発表） 「ゴリラのパン屋さん」 絵本「ゴリラのパン屋さん」より
32	31 令和元年	2019年 12月14日 参加 74	[午後の部（実技発表）] 付高保育コース「オープニングアクト」 1 身体表現ダンス&影絵「3匹のこぶた」 2 保育内容研究「不思議なお茶会」 3 劇表現（中・四国保育学生研究大会発表作品） 「ぼくらのヒーロートンネル」 絵本「へんしんトンネル」より 4 音楽表現「ディズニー・メドレー」

2-3 創作発表会発表形式別分類

発表形態（年度）	発表内容（主に重なる題名）（発表回）
劇 1～12回（99）まで	マッチ売りの少女（音楽劇、絵本映像と演者）（1） オズの魔法使い（2）、白雪姫（3,7,10）、眠れる森の姫（5） 大きなカブ（9）、赤ずきんちゃん（12）（児童劇、同役複数）
縫いぐるみショー、劇 1回～現在	三匹のこぶた（16,20）、大きなカブ（21） 不思議な国のアリス（映像と演者）（22） 縫いぐるみショー（ミッキー、ミニー、ドナルド、デイジー、 キティ、ムック ビックバード、アンパンマン、ドラえもん、 トトロ 他）
ブラックシアター 1～27回（14）まで	みにくいアヒルの子（12）、不思議な国のアリス（2）、 三匹のこぶた（3,10）、白雪姫（5）、浦島太郎（4）、 ピーターパン（6,11）、かぐや姫（7）、人魚姫（8） 赤ずきんちゃん（4）、スイミー（15）、てぶくろ（16）
影絵 23回（10～）から	みにくいアヒルの子（1）、23回から毎回発表。 三匹のこぶた（32）、
保育内容研究 22回から（09～）	大型紙芝居、寸劇、大きなカブ（31）
ダンス 1～19回（06）	ラインダンス（ポンキッキーズ）等
みんなであうたおう 15回～18回（02～05）	リラクゼーションミュージックコーディネーター授業発表 童謡・昭和歌謡・演歌等
音楽 1回～現在	器楽合奏（ドラムセット等、吹奏楽器、ハンドベル他） ゴスペル・オペレッタ・ミュージカル
食育 22回から （09～15,17）	大型絵本劇（山口県内食について、食育かるた） 音楽と協同（はらぺこあおむし下関バージョン）（中・四国大会）

口頭発表（午前）	08,11,13,14,15,16,17（年度）心理、障害児支援
ポスター発表（ロビー）	09,11,12,13,14,15,16,17（年度）心理、障害児支援、伝承遊び、保育環境、乳幼児支援ゼミナール
学年だけの発表（2年）	24・25回（11,12）（年度）集団リズム体操
クラブ等発表	15,17,18（年度）中・四国保育学生研究大会発表（児童研究部・ほんの倶楽部・2年有志）
英語 28回（15）	英語紙芝居（ぐりとぐら）

2-4 創作発表会関連内容

1989年 第1回市立市民会館中ホールから会場変更し市文化会館を使用する。

市教育委員会名義後援により会場費減免申請し許諾。

会場日程については、同日会場使用希望団体がいる場合は抽選にて決定する。

- ・授業名「特殊研究」1、2年共に開講し、2回目より合同発表としている。
- ・発表会2回目よりリハーサルを含め2日間使用（リハーサル・本番）
- ・照明、ピンスポット、音響、会館機材使用（会館職員指導による学生担当）
- ・幕間は緞帳前使用し、舞台は前の片付けるとともに次のプログラムの準備。
- ・来場子ども達に駄菓子の袋を中休憩中に配布。会場内飲食禁止
- ・発表機材搬入・搬出 日通に依頼

1990年 年度を跨いで年2回公演（第2回、3回）抽選に外れ2月、11月に実施

1992～2001年 授業名「児童文化」。入学定員100名（～2010年度まで）

1998年 年度を跨いで年2回公演（1月、12月）

1月ピカチュウのモニュメント（文化会館入口に展示）

幕間 ピーターパンの操り人形（黒子操り）

2000年 招き猫（2.5m）モニュメント（横尾忠則展用制作）文化会館入口に展示

2001年 大学名改称・共学（男子、発表に参加）

2001～2007年 リラクゼーションミュージックコーディネーター資格（本学認定）

（介護施設訪問歌唱指導支援）

2002～2010年 授業名1年「児童文化」（前・後期）

2年「児童文化」（前期）「総合演習」（後期）

2005年 市立文化会館での最終公演。

文化会館解体の為会場変更。発表会場調査、選考。過去チャリティーショーをしていたためシーモール下関4階シーモールホールを発表会場として借用決定。

2006年～現在 シーモールホール会場 2日間（リハーサル、本番）

初期土曜日ハーサル・本曜日曜日、現在金曜日ハーサル・本番土曜日)

- ・シーモール社員 会場舞台設置。
- ・発表機材搬入搬出 日通。
- ・会場舞台照明 エフェクト に依頼
- ・幕間 会場に緞帳幕がないため、舞台下にて行う。
- ・ロビーにてポスター展示等発表。
- ・舞台に上がる階段 木製大型積み木で組み立て作成（付属第一幼稚園より借用）
- ・シーモール内、縫いぐるみパレードにて広報活動
- ・午後発表（実技発表として前日及び本番午前中リハーサル）
- ・午前の部（口頭発表を2009年度より新設）
- ・音響機器持ち込み。
- ・配布お菓子中止（シーモール店内に店舗があるため）

2011年～現在 入学定員を1学年50名に変更

授業名「保育実践演習Ⅰ・Ⅱ」「児童文化Ⅰ・Ⅱ」

- ・発表会要旨集発行開始

※発表会場 卒業発表会（1988）市民会館中ホールを使用。

創作発表会2回～18回（1989～2005）まで市立文化会館を使用。

19回（2006）～現在 シーモール下関4階シーモールホールを使用。

文化会館発表当時は商業演劇も使用する舞台だったため大掛かりの舞台ができた。内容も、学生数が多いためバトン仕様の背景や大掛かりの舞台装置の設置・置き場、照明等準備など複雑な動きもやりやすかった。また発表ごとに緞帳が降り幕間は緞帳前で行うため、次の舞台が組みやすかった。楽屋もゼミごとに用意し、他のゼミに気を使わなくて打ち合わせや発表準備などができた。ただ会場使用料は学校授業の一環であるため無料であったが、2日間の暖房や設備使用料（マイク・ Horizont ライト・ミラーボール等）は当日に現金で精算したため学科長は予め用意しておく必要があった。

シーモールホールでの発表になると、広さや照明など保育現場に近い状態での発表になり制約は多いが観客と一体感が感じられる発表形式に変化してきた。また会場の環境に合わせた新たな発表形式を工夫することで教員・学生は活気づくようになった。広報活動もシーモール店内を縫いぐるみが歩き客寄せを行うようになったほか、ロビーにおいてのポスター発表など発表方法が多岐にわたるようになっている。

3 まとめ —今後の創作発表会活動について—

創作発表会についてのアンケート結果

令和2年8月に今後の創作発表会の活動の発展性について授業アンケートを行った。

このアンケートは、30年にわたり創作発表会の目的である「子どもや保護者の援助技術・方法について実践的に学ぶとともに主体性を持ち能動性、積極性を養い、専門職にふさわしい技術を身に付けコミュニケーション力や協調を養うことのできる授業として、感性豊かな表現力を身に付け、保育者として授業を通して教育実践を具現化する方法」として実技研究発表を行っている。新しい表現方法、幼児の感性など変わってきている現状がある。この節目にまた新たな発表を生み出すのは何か、活性化をするためには何が必要か、学生達はこの授業をどのように捉えているのかを聞くために行った。

アンケートの内容は図の通りである。

図1 2020 実施アンケート

<p style="text-align: center;">「保育実践演習」・「児童文化」授業についてのアンケート 20.8 実施 保育学科堀尾</p> <p>今年で創作発表会は33回目を迎えます。時代に合わせた新しい内容を含めることも必要と考えています。</p> <p>現在「身体表現」「音楽表現」「劇表現」「保育内容研究」の4コースで発表していますが新しいプログラム作成の資料にしたいと思いますので、やってみたい、見てみたい発表内容・形態がありましたら自由に記入してください。</p> <p>(例) 学年だけの発表。 希望者のみでの発表。 なし 従来通り 希望者だけ 学年だけ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">自由記述欄</div> <p style="text-align: right;">ご協力ありがとうございました。</p>

表2 「保育実践演習」・「児童文化」授業についてのアンケート実施結果

1年 39名／43名 回答率90.7%			2年 31名／35名 回答率88.6%		
発表内容・形態	数 %	合計数 %	発表内容・形態	数 %	合計数 %
(やってみたいこと) なし 従来通り	24名 61.5 4名 10	28名 71.8	(やってみたいこと) なし 従来通り	12名 38.7 5名 16	17名 54.8
内容・全コース一体	2名 5.1	11名 28.2	希望者だけ	9名 29	14名 45.2
・ダンス	2名 5.1		(従来の発表に加える)		
・学年だけ	1名 2.6		学年だけ	3名 9.6	
・保育内容研究と 音楽が一緒に	1名 2.6		1.2年全員で	2名 6.5	
・未記入	5名 12.8				

表2はアンケートの集計結果である。

アンケート結果を見ると「従来通りでよい」が2年の半数、1年の7割を占めている。

このことから、演習科目の単位が卒業必修であるため積極的に授業と発表準備に取り組むのではなく、他の授業と同じように無難に終わらせる事で済むと思う学生が多くいるように思われる。2年生になると1年次に体験したり観察した全コースの活動を参考に、自分たちで何か発表活動をやりたいと感じている学生が14名45%いる。その内、従来の発表だけでなく合わせて「希望者だけ29%」「2年だけ10%」での発表をすることをより具体的に変化を求め積極的に提案したい学生がいるのが分かる。その意欲ある学生達がコースを引っ張っているのが現状であるが、それだけでは指導する学生が疲れてしまう。他の学生達は、アンケート結果から推測するだけではあるが他人任せな学生が2年のみならず1年にも多くいるように見える。また1年生の場合、前期の授業終了時という授業体験少ない時期に実施したこのアンケートに11名(28.2%)が変化を求めていることは、2年生の発表に対する動きに思うところがあったかもしれない。変化を求める学生たちの意識と指導する教員の意欲ある対応が授業を活性化する。

自分で内容を決めるのではなく発言力が強い者や2年に頼る1年、内容が会わなくても早く帰れるコース、又は楽な活動ができるコースを選び、厳しい活動、難しいことをするコースは避ける学生が全体の半数以上いる現状から、授業活動「専門職にふさわしい技術を身に付けコミュニケーション力や協調を養い、感性豊かな表現力を身に付け、保育者として授業を通して教育実践の発表の場として、また地域社会の幼児育成の一助として行うことを目的とする。」発表会を活性化する方法として、どのようなことをすればいいのか。近年いい舞台を構成しているコース別発表ではなくのは、過去の児童研究部のように希望者だけで構成された発表であ

る。参加学生は労を惜しまず友を助けて夜遅くまで練習をし小道具作成など役割分担を自主的に決めて時間外の活動で創り上げる。ただこれには現在でもされている教員の協力が必要で、教員の協力を得ると学生の興味が増し、その活動が時間を生み出し学生達に達成感を与え保育者になっても成功体験として仕事に対する姿勢にも表れる。

現在のカリキュラムでは難しいが提案として、学生全員で取り組む方法として考えられるのは、本来の活動とは別に興味のある活動にコースを超えて参加し発表する方法である。興味のないものはそのコースで活動すればよい。教員としては大変ではあるが、興味を持った者のための指導は最小限で済むし、発表したい学生の欲求も満たされる。そのことが発表技術となんでも取り込む好奇心を持つことで、卒業後、子どもたちや社会に貢献できる保育者として幅広く実力をつけるものと確信する。

謝辞

本報告の作成にあたりアンケートにご協力いただいた卒業生江頭由美子氏、ご指導いただいた高杉志緒氏、保育学科諸先生、金銀英氏に対して、記して感謝いたします。

参考文献・引用文献

- 1 堀尾昇平：「児童研究部」における社会活動の報告 下関短期大学紀要第 30 号（2012 年）
- 2 堀尾昇平：発泡スチロール使用による縫いぐるみ制作に関する報告
下関短期大学紀要第 33 号（2015 年）
- 3 堀尾昇平・高杉志緒：下関短期大学保育学科「創作発表会を振り返って
—卒業生 11 名の感想を中心に— 下関短期大学紀要第 36 号（2018 年）